

# 令和5年度 教育課程の構造

(○) は児童生徒の実態等を考慮して設けることができる教科

お 学  
け る 指  
る 導  
各 要  
教 領  
科 等  
等 に

高	○	○	○	○		○	○	○	○			○	(○)	(○)		○	○	○		○		
中	○	○	○	○		○	○			○		○	(○)			○	○	○	○			
小	○		○		○	○	○				○				(○)	○	○	○				
	国語	社会	数学	算数	理科	生活	音楽	美術	図画 工作	職業	家庭	職業・ 家庭	体育	保健 体育	外国語	情報	外国語 活動	特別の 道徳	特別 活動	自立 活動	総合的 な学習 の時間	総合的 な探求 の時間
	各教科																					



内容の再編成



び 指 本  
教 導 校  
科 の 形  
名 形 お  
態 態 け  
及 及 る

	各教科等を 合わせた指導			教科別の指導										全活教 体動育								
訪問 教育	○			○※2		○※2		○※2	○※2	○※2								○	○			
高	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○			○	○※1		○	
中	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○				○	○※1	○		
小	○	○		○		○		○	○	○	○	○						○	○※1			
	日常生活の 指導	生活単元 学習	作業学習	国語	社会	数学	算数	理科	生活	音楽	美術	図画 工作	保健 体育	職業・ 家庭	職業	家庭	特別の 道徳	特別 活動	自立 活動	学習の 時間	総合的 な探求 の時間	総合的 な探求 の時間

※1 時間の指導を設定して行うとともに、教育活動全体を通して適宜指導する。  
 ※2 訪問教育の各教科等については、児童生徒の実態に合わせて実施する。